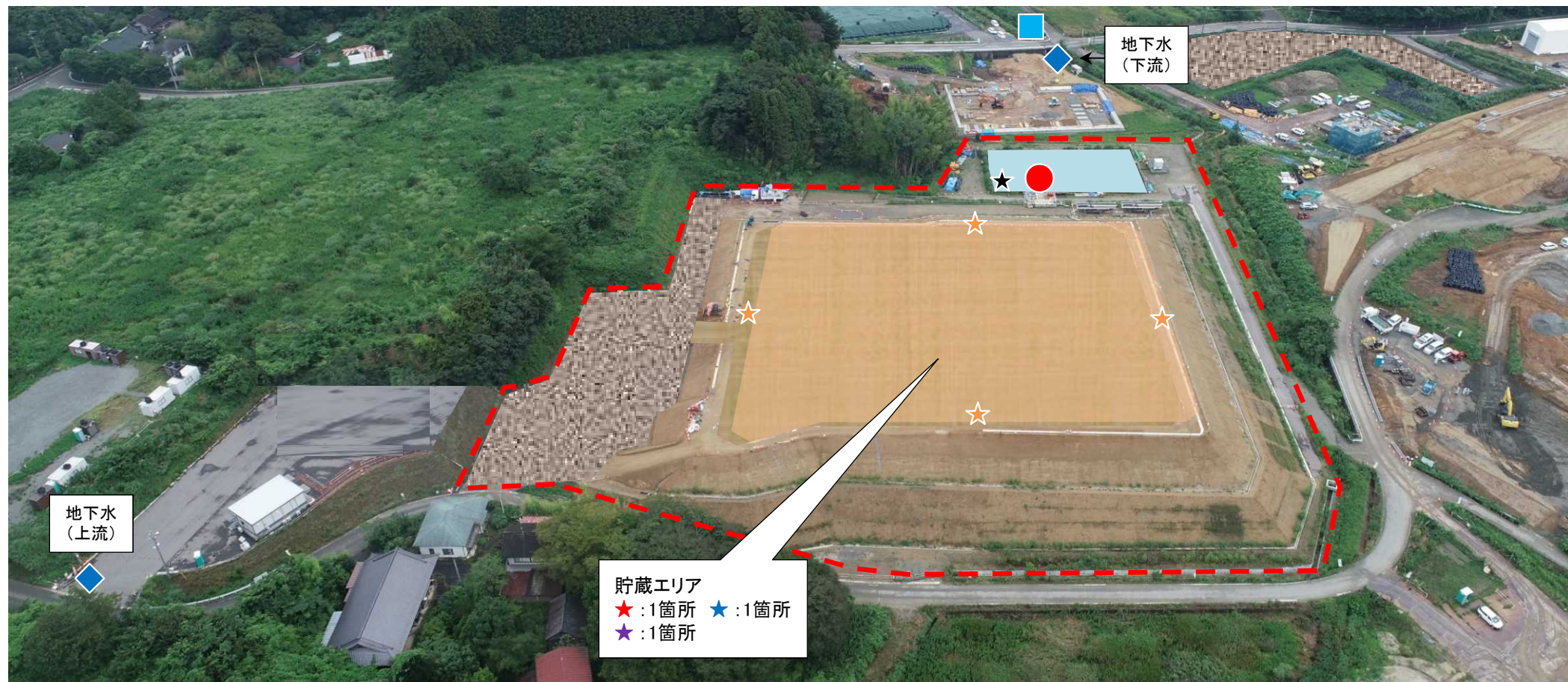
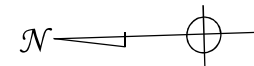


土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



☆:施設の位置



【凡例】

◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等

■ : 放流先河川の放射能濃度

☆ : 空気中の放射能濃度

● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度

★ : 粉じん濃度

★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界)

★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

★ : 空間線量率(作業環境)

--- : 敷地境界線

土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2020/3/5	(稼働後)	17	17
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2020/3/5	(稼働後)	20	8.9

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2020/3/12	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

施設解体のため測定なし。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

施設解体のため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定日	測定項目	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
2020/3/5		35

SS基準：60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND	ND
2020/3/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/3/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
貯蔵エリア	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/2 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア中央	0.17

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/5 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：2.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界)

測定地点		2020/3/28 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND

表面汚染密度検出下限値：0.68 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

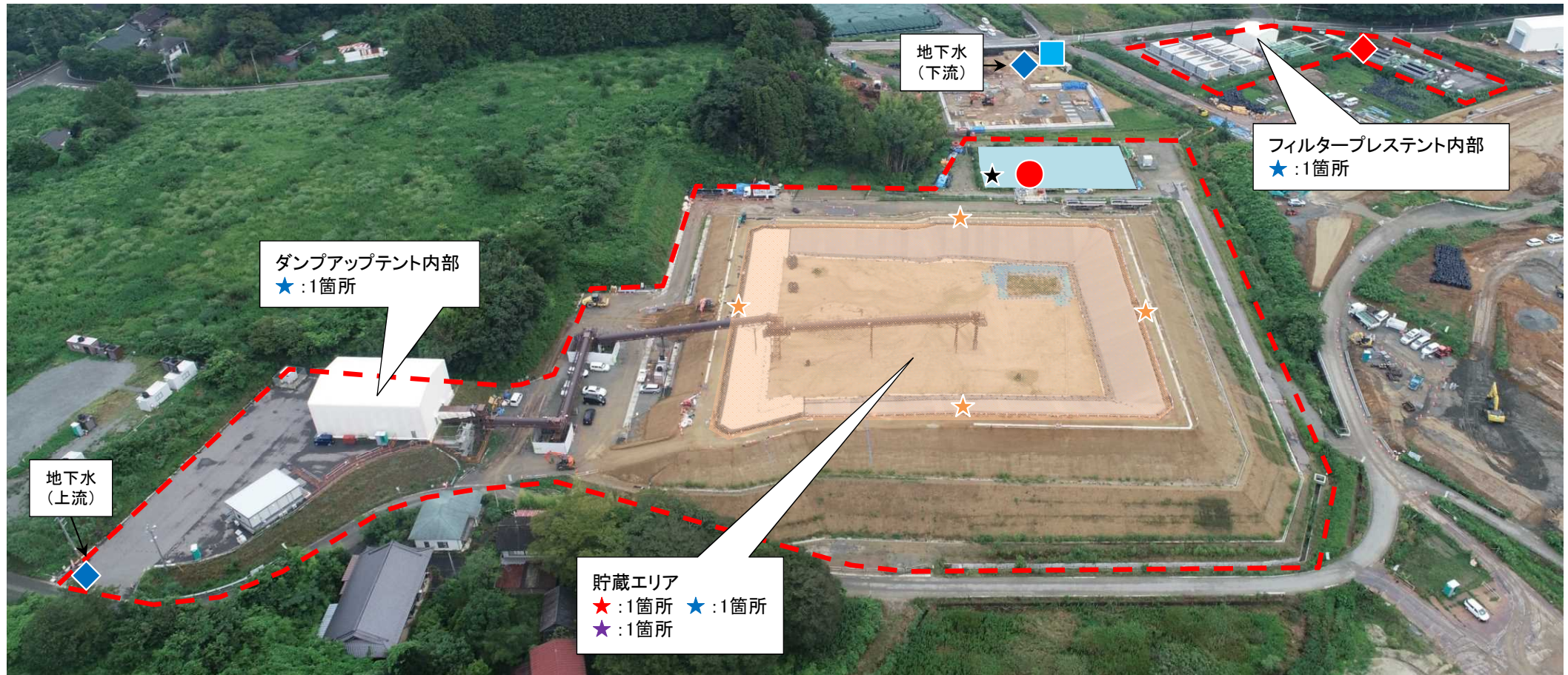
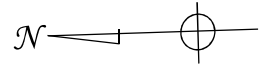
限度：40Bq/cm²

除去土壌等の搬入が終了し、施設および設備の稼働が終了となった。

該当する以下の項目について、測定地点数等が減少となっている。

- ・浸出水処理施設の環境項目
- ・浸出水処理施設放流水の自動測定結果
- ・粉じん濃度
- ・空間線量率(作業環境)
- ・空気中の放射能濃度
- ・表面汚染密度

土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)2020年2月



★:施設の位置

【凡例】

◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等

★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

★: 空間線量率(作業環境)

---: 敷地境界線

●: 地下水(集排水設備)中の放射能濃度

■: 放流先河川の放射能濃度

★: 空気中の放射能濃度

◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等

★: 粉じん濃度

★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界)



土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2017/11/23 (稼働前)	13	21
	2020/2/6 (稼働後)	17	17
下流	2017/11/23 (稼働前)	17	9.4
	2020/2/6 (稼働後)	18	9.4

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)		ND
2020/2/12 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日				
2020/2/6	7.6	4.2	27	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/2/6 ~2020/2/13	7	0.1	0.2	ND	238

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2020/2/6		14

SS基準: 60mg/L

浮遊物質 (SS) の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)		ND	ND
2020/2/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目	2020/2/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア		ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/3,6 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンブアップ Tent	0.14
フィルタープレステント	0.15
貯蔵エリア中央	0.29

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/6 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 3.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 3.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界)

測定地点		2020/2/22 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.72 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

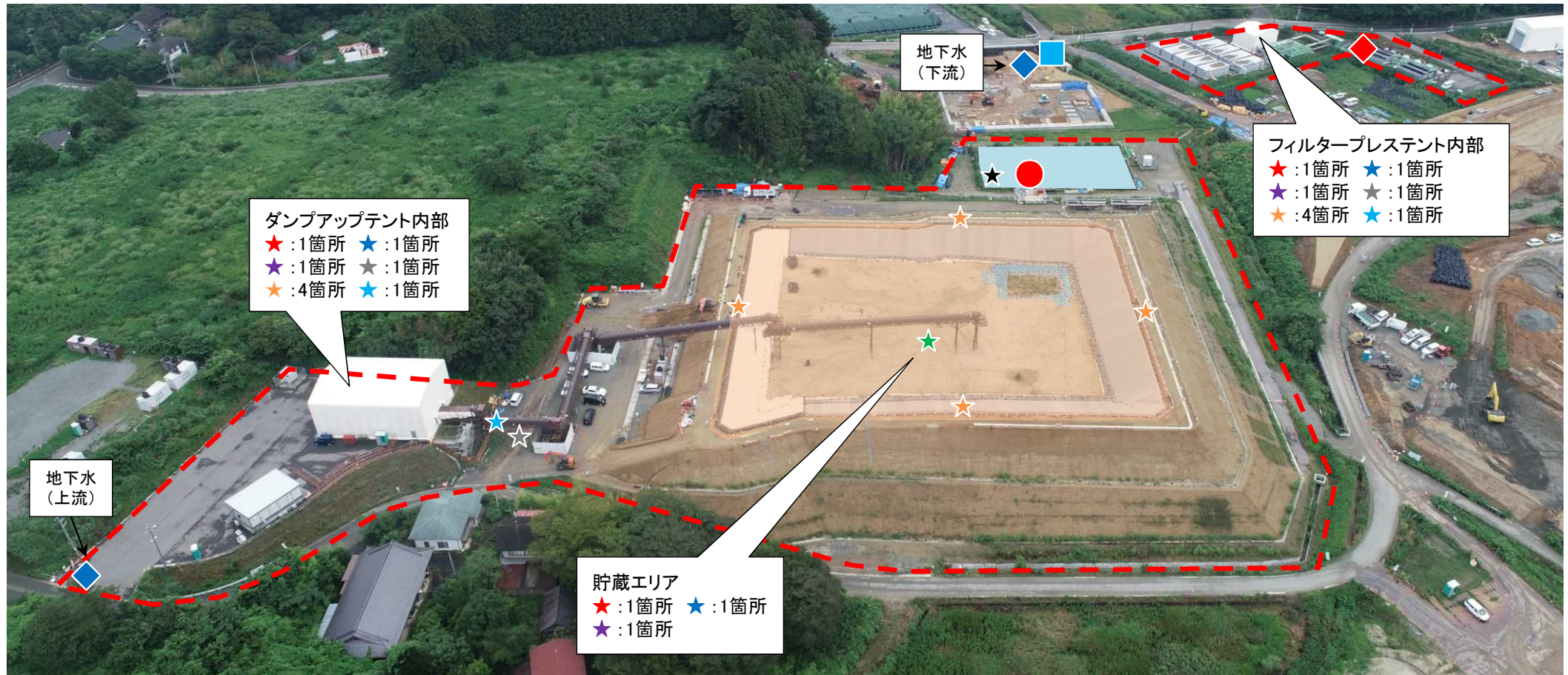
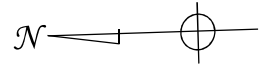
限度: 40Bq/cm²

貯蔵エリアのキャッピングが完了したことにより、施設および設備の稼働が終了となった。

そのため、以下の項目について、前月よりも測定地点数等が少なくなっている。

- ・浸出水処理施設 (2/13 稼働終了)
- ・粉じん濃度
- ・空気中の放射能濃度
- ・表面汚染密度

土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)2019年4月～2020年1月



★:施設の位置

【凡例】

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質濃度
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ☆: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア)

- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ☆: 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下)
- ★: 表面汚染密度(重機)



土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目 測定日	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2017/11/23 (稼働前)	13	21
	2020/1/9 (稼働後)	16	17
下流	2017/11/23 (稼働前)	17	9.4
	2020/1/9 (稼働後)	18	8.5

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目 測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)	ND
2020/1/9 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目 測定日	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/1/9	8.3	1.4	58	1

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/1/3 ～2020/1/30	17	0.1	4.5	ND	589

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目 測定日	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/1/9	39

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目 測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)	ND	ND
2020/1/9 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/9,15 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/6,15 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.14
フィルタープレステント	0.12
貯蔵エリア中央	0.35

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/9,15 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレステント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：4.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：2.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/1/22 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
	重機①	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	ベルトコンベア	ND
	ベルトコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.69 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年12月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2019/12/5	(稼働後)	16	17
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2019/12/5	(稼働後)	20	8.7

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2019/12/13	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/12/5		7.8	3.1	35	3

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/12/7 ～2019/12/28	5	0.1 2.0	ND	175

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/12/5		3

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND	ND
2019/12/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/12/5,12 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.6
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/12/5,12 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.17
フィルタープレステント	0.13
貯蔵エリア中央	1.16

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/12/5,12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレステント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/12/16 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.66 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年11月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2019/11/6	(稼働後)	17	18
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2019/11/6	(稼働後)	19	8.5

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2019/11/7	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/11/6		7.8	2.1	16	6

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/11/1 ～2019/11/30	15	0.1 4.0	ND	486

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/11/6		2

SS基準：60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND	ND
2019/11/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2019/11/7,14 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	1.2
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	0.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/11/7,14 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.18
フィルタープレセント	0.19
貯蔵エリア中央	1.33

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/11/7,14 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：4.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/11/23 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.62 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年10月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2019/10/3	(稼働後)	18	18
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2019/10/3	(稼働後)	19	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2019/10/2	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/10/3		8	1.4	14	1

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/10/6 ～2019/10/30	115	0.1	4.8	ND	3965

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/10/3		5

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND	ND
2019/10/3	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/10/3,10 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	1.1
フィルタープレセント	0.2
貯蔵エリア	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/10/3,10 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレセント	0.16
貯蔵エリア中央	1.54

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/10/3,10 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/10/14 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.69 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年9月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2019/9/5	(稼働後)	17	18
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2019/9/5	(稼働後)	19	9.2

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2019/9/5	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/9/5		7.8	1.6	14	3

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/9/3 ～2019/9/23	21	0.1	1.0	ND	712

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/9/5		5

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND	ND
2019/9/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/9/5,12 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.1
フィルタープレセント	0.2
貯蔵エリア	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/9/2,12 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレセント	0.15
貯蔵エリア中央	0.25

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/9/5,12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/9/20 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	ベルトコンベア	ND
	バルコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.67 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年8月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2019/8/1	(稼働後)	16	16
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2019/8/1	(稼働後)	19	9.2

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2019/8/2	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/8/1		8	1.8	9.8	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/8/8 ~2019/8/31	17	0.1 4.7	ND	587

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/8/1		2

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND	ND
2019/8/1	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2,8 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.1
フィルタープレセント	0.2
貯蔵エリア	0.2

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/8/5,8 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレセント	0.15
貯蔵エリア中央	0.24

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/2,8 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 3.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 3.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/8/21 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	ベルトコンベア	ND
	ベルトコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区東側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年7月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目 測定日	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2017/11/23 (稼働前)	13	21
	2019/7/4 (稼働後)	18	10
下流	2017/11/23 (稼働前)	17	9.4
	2019/7/4 (稼働後)	20	9.1

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目 測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)	ND
2019/7/5 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目 測定日	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/7/4	7.6	1.6	11	ND

pH基準：5.8～8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/7/1 ～2019/7/28	50	0.1 4.0	ND	1738

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定項目 測定日	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
2019/7/4	14

SS基準：60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目 測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)	ND	ND
2019/7/4 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/7/4,11 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.1
フィルタープレステント	0.2
貯蔵エリア	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/7/4,8 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレステント	0.15
貯蔵エリア中央	0.24

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/7/4,11 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 3.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137： 3.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/7/15 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	ベルトコンベア	ND
	ベルトコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年6月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2019/6/6	(稼働後)	17	9.6
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2019/6/6	(稼働後)	20	9.4

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2019/6/20	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/6/6		8.1	1	17	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値	濁度 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/6/11 ~2019/6/27	15	0.0	0.1	ND	519

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/6/6		17

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND	ND
2019/6/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/6/5,14 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.5
フィルタープレセント	0.2
貯蔵エリア	1.2

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/6/5,14 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.18
フィルタープレセント	0.16
貯蔵エリア中央	0.35

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/6/5,14 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/6/13 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレセント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.69 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年5月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2019/5/9	(稼働後)	16	10
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2019/5/9	(稼働後)	20	9.2

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2019/5/22	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/5/9		7.8	1.5	17	2

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/5/3 ～2019/5/30	16	0.0	0.2	ND	559

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/5/9		13

SS基準：60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND	ND
2019/5/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/5/15,17 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.2
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/5/15,17 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレステント	0.16
貯蔵エリア中央	0.28

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/5/15,17 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2019/5/13 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東 ND 境界西 ND 境界南 ND 境界北 ND
ダンプアップテント	床 ND 東側(壁) ND 西側(壁) ND 南側(壁) ND 北側(壁) ND 設備 ND
フィルタープレステント	床 ND 東側(壁) ND 西側(壁) ND 南側(壁) ND 北側(壁) ND 設備 ND
貯蔵エリア	ベルトコンベア ND ベルトコンベア下管理用道路 ND

表面汚染密度検出下限値：0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年4月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目 測定日	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2017/11/23 (稼働前)	13	21
	2019/4/4 (稼働後)	17	9.7
下流	2017/11/23 (稼働前)	17	9.4
	2019/4/4 (稼働後)	20	8.9

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目 測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)	ND
2019/4/4 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目 測定日	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/4/4	7.9	1.2	20	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/4/11 ~2019/4/29	9	0.0 0.1	ND	312

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目 測定日	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/4/4	11

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目 測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)	ND	ND
2019/4/4 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/4/4,11 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.3
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/4/4,11 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレステント	0.15
貯蔵エリア中央	1.44

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/4/4,11 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/4/17 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²